

社 会

(2024年度)

《注 意》

1. 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開けてはいけません。
2. 問題用紙は6ページまであります。解答用紙は2枚です。試験開始の合図があったら、まず、問題用紙、解答用紙がそろっているかを確認、次に、すべての解答用紙に「受験番号」「氏名」「整理番号」を記入しなさい。
3. 試験中は、試験監督^{かんとく}の指示に従いなさい。
4. 試験中に、まわりを見るなどの行動をすると、不正行為^{こうい}とみなすことがあります。疑われるような行動をとってはいけません。
5. 試験終了^{しゅうりょう}の合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
6. 試験終了後、試験監督の指示に従い、解答用紙は書いてある方を表にして、上から、(その1)(その2)の順に重ね、全体を^{いっしょ}一緒に裏返して置きなさい。
7. 試験終了後、書きこみを行うと不正行為とみなします。

次の文章をよく読んで、4 ページから 6 ページの問いに答えなさい。

今日は麻布中学校の入学試験日です。ところで、なぜいま君は試験を受けているのでしょうか。その理由はさまざまだと思います。いろいろな学校を見たり調べたりして麻布中学校が自分に合うと思ったとか、親や先生にすすめられてここで学校生活を送りたいと考えたからかもしれません。しかし、なぜ子どもは学校に通うものとされているのでしょうか。おとなが子どものための学びの場を用意することは古くからありましたが、現在のようにだれもが当たり前のように学校に通い、決まったクラスで時間割に従って授業を受けていたわけではありませんでした。

奈良時代から鎌倉時代までの教育

かつて子どもはどのように学んでいたのでしょうか。奈良時代には貴族の子どもを役人に育てるために儒学などを教える場所がありました。ア. 鎌倉時代になり、政権をとった武士は教育のための特別な場所をつくらず、日常生活のなかで礼儀作法や武芸を学ばせました。また、一部の武士は子どもを寺院に一定期間住まわせて、読み書きの基礎などを身につけさせました。武士のなかには子どもに仏教を熱心に学ばせる者もあり、難しい仏典（仏教の書物）を読むことが教育の目標とされることもありました。この時代、教育を受けたのは貴族や武士など一部の人たちだけであり、身分に応じた内容を学んだのでした。

江戸時代の教育

江戸時代になると民衆のなかにも、子どもに教育を受けさせる人が増えてきましたが、あくまで生活の必要に応じて学ばせるものでした。当時、都市や農村で商品の売り買いが広まっていき、読み書きの能力を身につけることが民衆にも求められるようになりました。そのため、民衆の手で寺子屋がつけられました。

寺子屋では現在の学校のように共通の学習進度などは設定されていませんでした。子どもたちは自由に持ち運びできる机を使用して好きな場所に移動し、先生に字を直してもらったり読み方を教えてもらったりしながら、個別に学んでいました。基本的には通い始める時期も定まっておらず、上級の学校に進む機会もないため、学ぶ必要があることを学んだらすぐに寺子屋を離れることもできました。また子どもたちが文字の読み書きの手本とする書物は、イ. もともと手紙文例集であったものが教科書として発展した「往来物」とよばれるものでした。

読み書きを身につけた農民は、農業の技術についての書物を読んで、品種改良や肥料のくふう、新田開発などをおこなって穀物を増産したほか、ウ. 現金収入を増やすための作物もつくるようになりました。また契約書や送り状などを書くために、商人にも読み書きの能力が求められるようになっていきました。

一方で、エ. 各藩は政治の担い手である武士の子どもたちのために藩校をつくりました。ここでは漢文（中国語で書かれた文章）の学習や武術を中心に教育がおこなわれました。

また江戸時代も後期になると、子どもだけでなく、オ. 若者を中心として学ぶ意欲を持つ人

びとが集まる私塾^{しじゅく}という民間の教育機関が各地で発展しました。そこでは西洋の学問がすすんで取り入れられることもあり、たとえば大坂^{おおさか}にあった適塾^{てきじゅく}では、ヨーロッパからもたらされる最新の知識、技術がおもに（ 1 ）語で学ばれました。のちに慶應義塾^{けいおうぎじゅく}を開いた九州出身の（ 2 ）も適塾に学びました。私塾で学んだ人びとが明治時代の近代化に大きな役割を果たしました。

明治時代以降の教育

明治時代になると、新政府は日本中のすべての子どもを学校に通わせることを目標としました。1871年に政府は文部省を新設し、力^{ちから}、翌年から全国で学校の設置を進め、学問が立身出世のための手段であることを強調しました。1879年には、小学校では読書・習字・算術・地理・歴史・修身を基本としながら、罨画^{えいが}（美術）・唱歌・体操や、物理・生理・博物（あわせて理科）などを教えることとしました。また女子には裁縫^{さいほう}を教えることもあり、教室では多数の子どもに対して同じ内容の知識を教えこむ仕組みがつけられましたが、キ、これらの教科の多くは生活上の必要とは離れたものであり、子どもたちにとっては学ぶ意味を見いだしにくいものでした。それでもしだいに教育制度がととのえられていき、1886年には小学校での教育が義務化されました。小学校を卒業するとほとんどの子どもは仕事に就きましたが、一部の子どもはク、男子であれば中学校、女子であれば高等女学校に進学しました。さらに男子のなかには上級の学校である高等学校や軍の学校に進学する人もいました。

1890年には「（ 3 ）」が出され、天皇を中心とする国家への忠誠と、国民としての道徳を身につけることが教育の目標とされました。1891年には小学校で学級制が始まりました。それまでは知識の習得の度合いに応じて進級し、さまざまな年齢^{ねんれい}の子どもが同じ教室で学ぶ等級制がとられていましたが、ケ、学級制では同じ年齢の子どもたちが授業をいっせいに受ける形での教育がおこなわれました。

小学校就学率は、1873年には28.1%でしたが、その後授業料が無償^{むじやう}になるなど制度がととのえられていくなかで就学率は上がっていき、1910年ころには小学校の就学率は90%を超えました。この時代になると一部の学校では、子ども自身の経験や体験を重視して、個性や自発性を伸ばそうとする教育がおこなわれました。

しかし、戦争が近づくと、こうした子どもの自発性を重視する教育が政府に利用されるようになりました。とくに1940年代に小学校が国民学校とよばれるようになったあとは、国家や天皇のために尽くした人たちの物語を読み聞かせるなどして、子どもの関心をひきつけながら、戦争に協力する国民を生み出そうとする教育がおこなわれました。

第2次世界大戦後の教育

第2次世界大戦後、GHQ（連合国軍総司令部）による教育の民主化の指令を受けて、軍国教育が一掃^{いつそう}されました。そしてコ、1947年に教育基本法が成立し、教育の目的は人格の完成にあるとされ、すべての子どもが能力に応じて等しく学ぶ機会が保障されました。男女共学も進み、

子どもにとって教育は義務ではなく、権利であると考えられるようになりました。教育内容についても子どもたちが生きる社会や身のまわりの生活の課題を解決する能力を育成することが重視されました。たとえば、クラスの問題をみんなで話し合って解決するための場として学級会がつくられたのもこのころです。

しかし一方で、敗戦から立ち直るために産業の復興が重視され、教育もそれに貢献^{こうげん}するべきだと考えられるようになりました。1957年になると、社会主義国の（ 4 ）が人工衛星の打ち上げに成功し、アメリカや日本は科学技術で社会主義国におくれをとってはいけないと危機感を持ちました。そのため政府はとくに理科・数学の教育に力をいれました。さらに高度経済成長期には、教育内容や授業時間数も増やされました。

やがて高校や大学への進学率^{じょうしゅう}が上昇すると、「受験戦争」とよばれるほどに競争が過熱し、学校は受験勉強の場所となっていきました。このころになると学校がかかえる問題が社会のなかで注目されるようになりました。たとえば厳しすぎる校則による子どもたちの管理、校内暴力やいじめ、学校に適応できない子どもたちの不登校などです。

1980年代になると、授業時間数を減らし、子どもの自発性を重視した教育がめざされることになります。これが「ゆとり教育」とよばれる改革です。しかし、やがて「ゆとり教育」は学力低下の原因であるとされ、批判されるようになりました。そのため2010年代には授業時間数の増加など「脱^{だつ}ゆとり」といわれる改革がおこなわれていきました。

これからの教育

現代社会は急速な勢いでめまぐるしく変化しています。それにともない学校に求められる役割も変化しており、さまざまな提言にもとづいて多くの改革がおこなわれ、よりよい教育がめざされてきました。たとえばIT化が進展するなかで、サ. 子どもたちがインターネットを使いこなせるようになるためとして、学校のインターネット環境が整備されてきました。またグローバル化に対応するためとして、小学校でも英語が教えられるようになり、さらに「アクティブ・ラーニング」といった参加型の授業が重視されるようになりました。しかし、そのような改革で今後すべてがよくなるとは思えません。改革に次ぐ改革の結果、学校は疲れ果てていくでしょう。

学校教育の目的は子どもを社会に適応させるだけではありません。むしろ子どもが自分とは違^{ちが}うさまざまな考え方を学ぶことで、よりよい社会をつくっていくことに役立つということもあるでしょう。シ. いまいちど教育とは何か、そして学校がどのような役割を果たすべきかについて考え直さなければならないときかもしれません。

問1 文中の空らん（１）～（４）に当てはまる語句を入れなさい。

問2 下線部アについて。鎌倉時代について述べた次のあ～えの文のなかから誤っているものを1つ選びなさい。

- あ 源頼朝は、朝廷から征夷大將軍に任命され全国の武士を従えた。
い 守護は、村で年貢の取り立てや犯罪の取りしまりをおこなう役職であった。
う 武士たちは、博多に攻めてきたモンゴル軍を撃退した。
え 武士たちが、主君から新たな領地をもらうことを「御恩」とよんだ。

問3 下線部イについて。江戸時代の往来物のなかには、農民たちが幕府に生活の苦しさを訴えた書状や、村同士の争いにおけるやりとりをまとめた書状などがありました。このことから、この時代の前後で、民衆の問題解決の方法がどのように変化してきたといえるでしょうか。解答らんに合うように答えなさい。

問4 下線部ウについて。そのような作物として適当でないものを次のあ～おのなかから1つ選びなさい。

- あ 綿花 い なたね う さといも え 茶 お たばこ

問5 下線部エについて。以下の表1に挙がっているのは、江戸時代の藩校の例です。表のなかの藩校①～③があった場所を、次のページにある地図1の記号あ～くからそれぞれ選びなさい。

表1

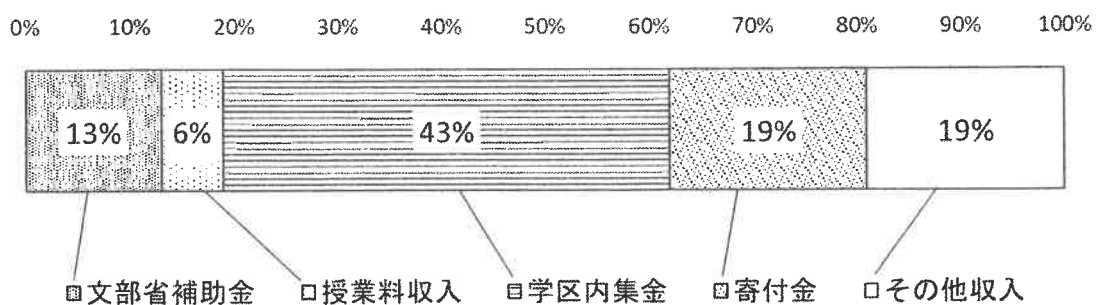
藩校の名前	藩校の特徴
① 日新館	上級武士の子どもへの教育に重点が置かれ、白虎隊隊士を生み出した。
② 教授館	この地から漂流して外国を見聞した中浜万次郎が帰国後教授になった。
③ 明倫堂	徳川御三家の藩主が設立し、儒学中心の学問が教えられた。

問6 下線部オについて。幕府領だった九州の日田という町（現在の^{ひ た}大分県日田市）で、^{ひろせたんそう}廣瀬淡窓という儒学者が1817年に^{かんぎえん}咸宜園という私塾を開き、儒学や漢文を中心に教えました。この私塾は当時の日本で最大となり、閉塾した1897年までに約5000人が入門しました。藩校と比べて私塾に集まったのはどのような人びとだと考えられますか。説明しなさい。



問 7 下線部**力**について。明治時代の初めには、小学校の校舎が打ちこわされたり、新たに雇^{やと}われた教員が追い返されるといったことが起きました。それはなぜですか。次の図 1 を参考にして説明しなさい。

図 1 公立小学校の収入の内訳（1873年度）



（文部科学省『学制百年史』より作成）

問 8 下線部**キ**について。子どもたちにとって学ぶ意味を見いだしにくいにもかかわらず、これらの教科を政府が子どもたちに学ばせようとしたのはなぜですか。説明しなさい。

問 9 下線部クについて。女子の場合、なぜ男子の「中学校」にあたる学校が「高等女学校」とされたのでしょうか。説明しなさい。

問 10 下線部ケについて。同じ程度の学力を持つ子どもたちが年齢にかかわらずともに学び、知識の習得をより効率よくおこなえる「等級制」ではなく、学力にかかわらず同じ年齢の子どもたちがともに学ぶ「学級制」が採用されました。「等級制」と比べて「学級制」の方が実現しやすいことはどのようなことですか。そして、それは政府にとってなぜ都合がよかったのでしょうか。あわせて説明しなさい。

問 11 下線部コについて。教育基本法ではすべての子どもへの教育が保障されているわけではないという意見があります。たとえば下の文は制定当時の教育基本法第 10 条の一部です。この条文にある「国民全体」という語は、GHQによる原案では「全人民 (the whole people)」と書かれていました。これは「日本に住むすべての人びと」を意味します。それを日本政府があえて「国民全体」としたことで、どのような問題が生じたと考えられますか。説明しなさい。

第 10 条 教育は、不当な支配に服することなく、国民全体に対し直接に責任を負って行われるべきものである。

問 12 下線部サについて。何かを知りたいときに、自ら本で調べたりインターネットで検索したりすればたいはいのことはわかります。それでも学校で学ぶことは大切だと考えられています。それは学校で知識が提供されるときに、どのような配慮がなされているからでしょうか。説明しなさい。

問 13 下線部シについて。本文にあるように、学校教育は社会の求めによって、大きな影響を受けてきました。他方で、学校教育も人びとの価値観や考え方に大きな影響をあたえてきました。学校教育は人びとの価値観や考え方に影響をあたえることで、どのような社会をつくってきましたか。そして、そのような人びとによってつくられた社会にはどのような問題がありますか。あわせて 100 字以上 120 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も 1 字分とします。

〈問題はここで終わりです〉

〈以下余白〉

受験番号	
氏 名	

(2024年度)

社会解答用紙（その1）

問1

(1)

(2)

(3)

(4)

問2

問3

による解決から による解決へと変化した

問4

問5

①

②

③

問6

問7

問8

(整理番号)

小 計

